

烏森城(名古屋市中村区烏森町)

城主は、羽柴秀吉の家臣、杉原長房であった。長房の父家次は、秀吉の伯母を妻としていたので早い時期から秀吉の家来となったが、秀吉の不興を買い自害させられた。

そのため長房は、幼年時代をこの地ですごしたが、縁戚の北政所のとりなしで天正 14(1586)年に秀吉に仕え、播磨で千石を拝領しこの地を離れた。

城跡と見られる遺構は何も残されていない。

残念ながら、すでにどこが城跡かの判別すらできなくなっている。

帝国博物学協会による



完全に宅地化され何も残っていない。